

2020年度第1回 J A 北海道厚生連 帯広厚生病院倫理審査委員会 会議の記録概要

倫理審査委員会 事務局

開催日時	2020年4月2日（木） 18:00 ～ 18:28
開催場所	J A 北海道厚生連帯広厚生病院 Kosei Hall C
出席委員名	保前 英希「委員長」、高村 圭、秋川 和聖、宮本 憲幸 田村 広志、中島 悠雄、助川 麻衣子、北村 延夫、岩田 明子
委員数	出席委員数：9名／全委員数：10名
審議課題：審議結果を含む主な議論の概要	

研究課題番号	2020-001
審議案件名	正常分娩の分娩曲線についての研究
実施責任者	産婦人科 診療部長 服部 理史
審議内容	【迅速審査】当院にて正常分娩を行った方の分娩情報を収集し、真の正常分娩の分娩曲線を作成することを目的とした、多施設共同の後ろ向き観察研究であり、介入・侵襲ない為、迅速審査として審査を行い令和2年4月6日付けで承認とした。
審議結果	承認

研究課題番号	2020-002
審議案件名	EGFR遺伝子変異陽性未治療進行非扁平上皮非小細胞肺癌を対象としたオシメルチニブ+プラチナ製剤（シスプラチンまたはカルボプラチン）+ペメトレキセド併用療法の第Ⅱ相試験（NEJ032C）への参加
実施責任者	呼吸器内科 主任部長 高村 圭
審議内容	【迅速審査】令和2年2月17日付けで承認されている迅速審査の研究であるが、分担医師の追加等の変更による軽微な変更申請である為、迅速審査として審査を行い令和2年4月6日付けで承認とした。
審議結果	承認

研究課題番号	2020-003
審議案件名	既治療のEGFR遺伝子変異陽性肺癌に対するアテゾリズマブ+カルボプラチン+パクリタキセル+ベバシズマブ併用療法の第Ⅱ相臨床試験（NEJ043）への参加
実施責任者	呼吸器内科 主任部長 高村 圭
審議内容	【迅速審査】令和元年11月18日付けで承認されている迅速審査の研究であるが、分担医師の追加等の変更による軽微な変更申請である為、迅速審査として審査を行い令和2年4月6日付けで承認とした。
審議結果	承認

研究課題番号	2020-004
審議案件名	悪性胸膜中皮腫患者におけるニボルマブ治療効果予測因子の探索（HOT1901B）への参加
実施責任者	呼吸器内科 主任部長 高村 圭
審議内容	【迅速審査】手術不能悪性胸膜中皮腫患者に対して2次治療以降でニボルマブが用いられた患者から得られた既存の臨床情報、腫瘍検体を用いて行う多施設共同観察研究であり、介入・侵襲ない為、迅速審査として審査を行い令和2年4月6日付けで承認とした。
審議結果	承認

研究課題番号	2020-005
審議案件名	研究名称：オフポンプ冠動脈バイパス手術（OPCAB）の脱転時の循環動態と右心系機能の関連の後方視的検討
実施責任者	麻酔科 医長 救仁郷 達也
審議内容	【迅速審査】2020年3月までの過去5年間に当院でOPCABを施行した患者を対象に、麻酔記録を含む診療記録を用いて行う後ろ向き観察研究であり、介入・侵襲ない為、迅速審査として審査を行い令和2年4月6日付けで承認とした。
審議結果	承認

研究課題番号	2020-006
審議案件名	高校生HIV陽性患者に関する学校との協働による1考察
実施責任者	中央検査 看護師 佐々木 郁子
審議内容	【迅速審査】高校生HIV陽性患者が通う高校の教諭と養護教諭にHIVに関する学習会を実施し、事前に前後の率直な感想を分析した。また、患者本人より同意を得た上で、面談内容や電話対応録からの対応について振り返った研究の為、迅速審査として審査を行い令和2年4月6日付けで承認とした。
審議結果	承認

研究課題番号	2020-007
審議案件名	根治照射可能なⅢ期非小細胞癌で、PS2あるいは高齢者に対する低用量カルボプラチン連日投与と胸部放射線同時併用療法後、デュルバルマブ維持療法の第Ⅱ相試験（NEJ039A）への参加
実施責任者	第一内科 主任部長 高村 圭
審議内容	【通常審査】本研究は埼玉医科大学主体の多施設共同研究であり、非小細胞がん患者に対し低用量のカルボプラチン連続投与胸部放射線同時併用、その後維持療法としてデュルバルマブの治療を行い、どのような有効性と副作用を検討することを目的とした研究である。介入・侵襲があり同意書等の審議も必要となる為、通常審査として審査を行い令和2年4月6日付けで承認とした。
審議結果	承認

研究課題番号	2020-008
審議案件名	人工膝関節置換術における術後鎮痛方法の検討 関節周囲浸潤麻酔と超音波ガイド下浸潤麻酔の比較
実施責任者	整形外科 医長 上徳 善太
審議内容	【通常審査】本研究は2020年4月から2022年3月までの間に当院で2人工膝関節置換術を施行する患者を対象に、膝関節後方の疼痛管理法として術前・術中に行う麻酔方法に注目がされておりそれぞれの方法を比較しどのような有効性と問題点を検討することを目的とした研究である。介入・侵襲があり同意書等の審議も必要となる為、通常審査として審査を行い令和2年4月6日付けで承認とした。
審議結果	承認